

謹賀新年

WINTERNALL/SUMMERONIPS SPRINGEANS/AUTUMNUEINIA WINTERNALL

新年あけましておめでとうございます。
組合員とご家族の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、32年ぶりとなる高水準の賃上げが実現し、また、衆議院解散総選挙では県本部推薦・支持候補者全員の当選を果たすことができました。ご奮闘いただいた皆さんに感謝申し上げます。本年も、組合員の皆さんと力を合わせ、賃金・労働条件の改善に向け取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いします。
さて、賃上げでプラスに転じた実質賃金が再びマイナスとなるなど、物価高の状況は変わっておらず、私たちの生活は厳しくなっています。また、職場では、メンタル疾患者や早期退職者が後を絶たず、公務職場の志望者減少も相俟って、深刻な人員不足に陥っています。安心して生活し、心身共に健康で働き続けられる職場環境の整備が急務です。あらためて、生活や職場実態、組合員の声を集め、要求・交渉し、改善につなげていく取り組みが必要です。
単組活動、県本部運動の活性化、組織強化・拡大も課題です。常に身近な存在にあり、相談にのり、最も改善してほしい課題を取り上げることにより、組合員に信頼され、頼られる存在となることが求められています。
要求実現、組織強化・拡大に向け、2025春闘、人勤期・秋季確定闘争等において、単組のステップアップにつながる取り組みを追求していきましょう。
今年には参議院議員選挙が行われます。衆議院では与党が過半数割れとなりましたが、政権交代を実現し、働くことを軸とする安心社会としていくため、参院選は極めて重要な取り組みとなります。公務員の賃金・労働条件は最終的には議会の場で決定され、仕事も政治に左右されるなど、私たち公務員労働者は政治と無関係ではられません。政治闘争の必要性、政治に求める課題を明確にし、参院選における自治労組織内「岸まきこ」の再選、各級選挙における組織内・推薦候補者全員の勝利を一丸となって勝ち取りましょう。
今年には「巳年」。脱皮する蛇のイメージから復活と再生を意味し、新しいことが始まる年、また「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年と言われているそうです。福島県本部は、運動が実を結ぶ年にするため先頭に立ち頑張る決意です。自治労・県本部運動へのさらなる結集をお願いするとともに、組合員、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、年頭の挨拶とします。
ともにがんばりましょう。



自治労福島県本部
中央執行委員長
澤村 英行

2025年
年頭のごあいさつ

WINTERNALL/SUMMERONIPS SPRINGEANS/AUTUMNUEINIA WINTERNALL

県本部青年部
県本部女性部

岸まきこさんを囲んで

自治労福島県本部青年部・女性部は、2024年11月23日に福島市・ラコバふくしまで、岸まきこさんを招いての講演会と分散会を開催し、県内から53名の組合員が参加した。講演会ではご自身のこれまでの経歴を振り返るとともに、国政の課題について報告した。また、分散会では、各班をまわり、青年・女性組合員から職場の課題や悩み、国政への要望を聴き、交流を深めた。

私の経歴、
国政報告

岸まきこさん 講演会

集会はまず、岸まきこさんの講演でスタートした。

まずは自己紹介

こんにちは。組織内参議院議員の岸まきこと申します。私は北海道の出身で元々は栗沢町という町の役場職員でした。1994年に高校を卒業して役場に入りました。

た。平成の大合併で岩見沢市に編入合併したので、7千人から8万人の自治体職員になりました。組合での転機は空知地方本部というところの女性部の役員になったことです。当時、管内の他の自治体で、夫と同じ役場で働く女性職員だけを辞めさせようとする問題が

発生しました。自治労北海道本部も動いて、全道の自治体単組から抗議文書を送るなどして、白紙撤回させました。労働組合の必要性を実感した出来事でした。その後、色々な出会いがあって、自治労代表の参議院議員になりました。

国會議員としての活動

国会が開かれているときは朝8時から党の会議があります。その後は、本会議や委員会などに出席し、空いている時間帯に団体からの要望を受けることもあります。

開会中は色々な団体が院内集会を行っていますが、可能な限り出席して、課題を聴きます。閉会中は、今日のように集会に行ってお話をしたり、皆さんの単組や職場に行つて話を聴いたりします。話を聴いてきたら、国会の中で質問したり、政府に対して要望したり、往復運動になります。

自治労の声を国政へ反映した実績もいくつかあります。予算委員会で能登半島地震について質問した際、「水道と下水道が止まっているときに自衛隊が設置してくれた移動式のお風呂がいつ撤去されるか分からない」ということなので、被災地の皆さんが必要だという限りずっと設置しておいてほしい」と伝えました。大臣から明確に「わかりました」との答弁を引き出しました。また、トイレも下水道がないので相当厳しい。この前珠洲市に行ったら、保育所のトイレが1か所しか使えない。復旧したくても、受け手がいません。だから、次は「全国から業者を集めなければ復旧は進まない」と要望しようと思っています。それから移動式トイレは自治体が用意することになっていますが、ある程度、国が移動式ランドリーとともに準備しておくべきです。災害時にそれを現地に届けるということですが、これは次の予算でつきそうです。あとは防災の観点でも保育士の配置基準の問題があります。3歳児で15人。1歳児で6人を一人で見えます。深刻なのが0歳児。1歳未満のお子さん3人に

青年、女性に職場の課題、悩みを聴く
分散会に岸さんが参加

岸さんは、講演の後、参加者からの質問に答えた。また、分散会に加わり、国政や職場の現状や課題、意見、質問を聴き、参加者と対話した。

党派を超えた連携

― 政党によって考えや政策、支持団体など異なりますが、党派を超えて公務職場の改善を行った事例があれば教えてください。

岸 例えば会計年度任用職員の処遇改善を課題として取り上げてきたのは私なり、立憲民主党なり、野党の議員が中心だったけど、最終的に法律を改正することを決めたのは自民党と公明党なので、あの意味、与党も納得をして法律改正に結びつけた事例だと思っています。あと、農業政策は超党派で議員連盟をつくって、党派を超えた政策議論を日頃から行っています。例えば立憲民主党が政権を取ったとしても、こちらの考えだけで法律改正をすると、社会は分断されたままになってしまいますよね。だから話し合いの場を持つことを日頃より心掛けています。

子の看護休暇

― 福島県では子ども1人で子育て休暇が7日、2人以上で10日です。最低基準の



います。対応マニュアルの作成について尋ね、大臣から「総務省として措置状況のフォローアップや、事例調査を行い、自治体にそれらの事例を伝え、対策を行うようなものの対応を行いたい」との答弁を引き出しています。他にも現場で聴いたことは逐一国会の中で取り上げています。

組合員に伝えたいこと

自治労の組織内議員だけでなく福島県の立憲民主党の議員に、「こんな問題が起きているから改善を」と伝えてください。結果として賃金だけではなく、働きやすい環境に繋がりますよね。だから政治闘争が大事なんです。

で、これを上回っても何の問題もありません。だから当局が言っていることは、少し合っているように合っています。国家公務員と地方公務員の関係性という均衡の原則というのがあるから一定程度合わせなければならぬことを、自分たちに都合のいいように言っているだけだと思います。今回の法改正で日数は変わりましたが、小学校に入ると前までだった最低基準が、小学校3年生までに引上げられました。法改正の時、「反対はしないけど、なぜ小学校3年生なのかな」と思っていて、せめて小学校6年生まで、本当は中学生までというのが子育てしやすい環境だと思います。引き続き、私たち立憲民主党の議員を中心としながら、要望していきます。ただこれは民間も含めた法律の基準なので、民間の事業者の中には、休暇を多くとることに抵抗を感じるところもあるのだからと思っています。逆にそれを売りにすれば男性も女性も働きやすい会社として選ばれると思うんですよね。自治体も同じ考えに転換した方がよいと思うので、諦めずに要求し続けてください。



県本部青年部・女性部の組合員と交流した岸まきこ参議院議員

略歴

1976年	北海道岩見沢市（旧栗沢町）生まれ	2011年	岩見沢市企画財政部財政課管財係 自治労北海道空知地方本部 書記長 連合北海道空知地域協議会 副会長	
1994年	北海道岩見沢緑陵高等学校商業科卒業後 旧栗沢町役場入職（現岩見沢市） 庶務係、議会事務局、振興課企画・合併 対策担当	2013年	自治労中央本部 法対労安局長	
		2015年	同 組織対策局長	
2004年	自治労北海道空知地方本部 女性部長	2017年	自治労特別中央執行委員（組織対策担当）	
2006年	市町村合併により岩見沢市庶務課統計係	2019年	第25回参議院議員選挙で初当選 参議院総務委員会、決算委員会、地方創 生及びデジタル社会の形成等に関する特 別委員会（筆頭理事）に所属し、国会で 奮闘中	
2007年	自治労北海道空知地方本部 書記次長			
2008年	同 書記長			
2010年	同 副執行委員長			2023年10月現在



岸まきこさんを囲んで集合写真を撮影



ハラスメント問題
― 講演の中で、総務委員会の
際、公務職場のカスハラについて
質問をされたとお話がありました。
た。カスハラは今に始まったこと
ではありませんが、私の職場で突
然、「カスハラのマニュアルを作
成する」といった通知がありまし
た。「突然なぜだろう」と疑問に
思っていたのですが、お話を聞い
て、「総務委員会での発言が市町
村においてきて動き始めたのか
な」と思いました。マニュアル作
成のため、全職員に「どういうと
ころに注意が必要ですか」という
照会が届いたところです。岸さん
のお陰で、解決に向かって一歩進
みました。ありがとうございます。
岸 ありがとうございます。総務
省にも伝えておきます。
― あたりの強い市民がいます。
よいカスハラ対策はありますか。
岸 カスハラを例示したポスター
を窓口に貼っておくのはどうで
しょうか。印刷は各自対応いた
くとして、そのような掲示物を作
成するよう総務省に求めています。
「大声を出してはダメ」とか、
「机をたたいてはダメ」などのポ
スターを見て、自分でハッと気づ
くのではないのでしょうか。自治体
としてというより、一般常識とし
てお店なども含め「カスハラは
いけません」という趣旨のポスター
です。あと、一般論として名札は
名字だけにした方がよいです。フ
ルネームはインターネットに晒さ

れる可能性があります。
― パワハラは、加害者自身が自
覚していないケースが見られま
す。自分のところにも、自分では
よい上司だと思いついてる加害
者がいます。人事課とも話して訴
えようというところまでいきまし
たが、恨まれることを恐れた被害
者が人事異動まで我慢して、よう
やく一緒の職場から離れたケー
スがありました。パワハラに対する
対応策を教えてください。
岸 そのケースは当局の対応がま
ずいですよね。しっかり指導すべ
きです。放置するのは絶対ダメ。
ハラスメントは気をつければ直り
ます。研修でしっかり勉強しても
らう必要があります。
― 係長が道筋を示してくれない
のに、仕事のことですべてしま
す。どのようにすればよいでしょ
うか。
岸 そういう人は「自分もそう教
わった」と思っていることがよく
あります。その係長と仲のいい人
から言ってもらうとか、他の人に
協力を仰いではどうでしょうか。
それが無理なら、組合に相談する
とか。言われたことに同じ返し方
をしない方がよいと思います。
内部被ばく検査の継続
― 原発事故に伴う健康不安と健
康管理の事業として、内部被ばく
検査が行われています。国では支
援をやめる議論もあるそうです
が、継続していただきたいと思っ
ているので、よろしく願いまし
ます。
岸 健康不安を感じている人がい
て、検査を受けたい人がいるので
あれば、事業は継続した方がいい
ですね。広島などはずっと実施
しています。継続を求めます。
選挙制度の課題
― 選挙の低投票率が問題になっ
ています。スマホによる電子投票
の導入や、集計を簡単にできるよ
うに選挙のシステムを変えること
はできないのでしょうか。
岸 私も選挙管理委員会にいたの
で、まず、スマホの電子投票には

声を、思いを組合へ



全日本自治団体労働組合
中央執行委員長 石上 千博

明けましておめでとうございます。

昨年の春闘で5%を超える賃上げが実現する中、2024人事院勧告では3年連続で月例給・一時金の引き上げとなりましたが、続く物価高のもと個人消費は低迷するなど、私たちの生活は苦しいままです。物価上昇を上回る持続的な賃上げの実現が極めて重要であり、自治労としても秋の賃金確定期での公務員賃金引き上げにむけ、春闘期から取り組みを進めます。

一方、現場は慢性的に人員が不足しています。住民ニーズに対応し、安定的に公共サービスを提供していくためにも、必要な人員と財源の確保を強く求めていく必要があります。その他にも、職場には様々な課題があります。これから2025春闘が本格化しますが、組合の交渉力をより強いものにしていくためにも、みなさんの声を、思いを、ぜひ組合に寄せてくださるようお願いいたします。

他方で、「政治とカネ」の問題を背景に国民の政治不信は最高潮に達し、昨年10月の衆議院選挙では、与党の過半数割れとの結果となりました。本年夏の参議院選挙は、国民・国会軽視の自民党一強の政治からの脱却、中道・リベラル勢力の拡大、さらには政権交代にむけた、極めて重要なポイントとなります。とりわけ、私たち地域公共サービス労働者の声を国政に反映させる、そして地方自治を守る観点からも、自治労の組織内候補である「岸まきこ」参議院議員を再び国会に送り出さなければなりません。
私も着実に一歩前に進むことができるよう、全力で取り組む決意です。ともにがんばりましょう。

思いと力を一つに



参議院議員
鬼木まこと

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、温かく力強いご支援を頂きありがとうございます。

ございました。

改めて、この間のお力添えに心より感謝申し上げます。

昨年10月の解散・総選挙により国会の風景は大きく変わりました。これまでの与党による「数の力にものを言わせた不誠実で乱暴な国会運営」は衆議院では出来なくなりました。臨時国会は短期間でしたが、まもなく始まる通常国会では政府が提案する予算案や法案に対し時間をかけてその不備や不十分さを追及し、真に必要で効果のある予算配分や法案の成立をめざすと共に、私たちが求めてきた各種施策の実現に向け努力していきたいと思います。

政治状況は大きく変化したとは言え、その変革はまだ途上です。参議院では圧倒的少数野党という状況は変わっておらず、名実ともに参議院を「熟議の府」とするためにも7月の参議院選挙は極めて重要です。組織内候補予定者・参議院議員「岸まきこ」に対して、自治労に集う全ての仲間の皆さんが思いと力を一つにしてこの取り組みにご結集頂くことを心よりお願いし、年頭のご挨拶と致します。

ともに頑張ります！

声を力に、一歩前へ



参議院議員
岸 まきこ

明けましておめでとうございます。

2024年は6月に改正地方自治法の成立を許して

しました。私は昨年の改正は地方自治にとって非常に問題をはらんでおり、それを補う次期改正につなげるため、法案審査等の場で繰り返し問題提起を続け、議事録に大臣や政府答弁を残すことに苦心惨憺しました。私の一丁目一番地であり、地方自治こそが住民を守る最後の砦だと思っています。

そして2025年、今夏は参議院議員選挙が行われます。政権交代のための第一歩として、立憲民主党の議席拡大、私「岸まきこ」の2期目の議席獲得、「逆転の夏を再び！」のため全力を尽くします。そのために私自身、議員としての日頃の活動の一つひとつに気合いを入れて取り組む決意です。

また、発災から1年が経過してもなお復旧復興がままならない能登半島地震、全国で頻発する様々な自然災害の被災地のみなさまに一日でも早い安寧した生活を取り戻していただくため、被災地や応援派遣で支援されている多くの自治労の仲間のみなさんの声をしっかりと国政に届けてまいります。

声を力に、一歩前へ。ともにがんばりましょう。



が上がるのではないのでしょうか。

地方議会議員のなりて不足

― 地方議会議員のなりて不足が深刻化していますが、要因をどのように捉えていますか。

岸 一つは国民年金しかないこと。家族がいたら、基礎年金だけでは厳しいです。厚生年金への加入をお願いしたいですね。あと、国民健康保険へ加入することになります。保険料が高いですね。そして、町村は報酬が低すぎます。報酬を上げる、社会保険・厚生年金への加入、育休は難しくても産休は整備するなどの改善はした方がいいですよ。加えて、公務員は立候補した時点で失職する今の制度ではなく、当選するまで失職しない、すなわち、落選しても職場に戻る制度にすれば、自治体職員から立候補する人も出

るのではないかと思います。

職場の課題

― 講演の中で、保育士の配置基準の話がありました。保育職場では、より丁寧に保育をするためには数字ではないとの声が高まっています。最低基準は、人数よりも子どもの状況で臨機応変に変えることができた方が、より安全・安心な保育ができると思います。

岸 その観点は私に欠けていたかもしれません。保育する人を多くする考えでした。参考にします。

― 児童相談所勤務です。当番制ですが、いつ呼び出しがあるかわかりません。正直、職員も足りな

いし、経験の少ない若い職員が多くなっています。大事な役割を担っていますが、余裕がない職場だと感じています。



岸まきこさんとともに団結ガンバロー！

り上げられていませんでした。将来を担う子どもたちのための職場ですが、今は児童相談所に異動となると、暗い顔になってしまふ。増員を求めています。少ししか増えないので、解決に繋がりませ

ん。虐待だけでなく、非行問題への対応もあります。本来はそれなりの経験者も必要です。人材育成と職員数は課題となっています。改善を求めています。



新春お年玉クイズ



A						
1	2	3		6	8	
10				11		
12	C			E		
			4			
B		D			F	G
13				7		9
			14			
15				16		

■問題
タテのカギ、ヨコのカギをつないでパズルを完成させてください。AからGまでの7つの枠に入った文字を並び替えると答え（言葉）になります。

クイズの答え

A	B	C	D	E	F	G

※AからGまでの文字を並び替えると答え（言葉）になります。

抽選で豪華景品が 当たる！

- 自治労福島県本部賞
ギフト券5万円分 2本
- こくみん共済 coop 全労済自治労共済賞
カタログギフト5千円相当 10本
- 東北労金福島県本部賞
カタログギフト1万円相当 2本
- こくみん共済 coop 福島推進本部賞
図書カード5千円 4本
- 自治労福島県本部お年玉賞
クオカード千円 30本

タテのカギ

- 1 街頭などで行う体を用いた表現
- 2 空
- 3 ⇄高
- 4 山などの一番高い所
- 5 瓦斯
- 6 香辛料を用いたスパイシーなインド原産の料理
- 7 増幅器
- 8 あいびき、デート
- 9 亜鉛でメッキした薄い鉄板

ヨコのカギ

- 1 柔らかな色調の淡い中間色
- 4 チェアー
- 5 庭
- 7 芸術
- 10 快くないこと
- 11 詩を区切って何行かをひとまとめにしたもの
- 12 ⇄姪
- 13 イトマキエイ科の大型の軟骨魚
- 14 円を押しつぶしたような長円
- 15 うわぐすりをかけず低温で焼いた陶器
- 16 洋風の柔らかい生菓子

「へみ」は「へみ（蛇）」の略。正倉院文書の702年以降の戸籍簿にみえるのが最古の例だ。

▼蛇（じゃ）の道は蛇（へび）蛇の通る道は、ほかの蛇にはよく分かるということ。同類の者や仲間のこと。他人には分からなくても仲間の者にはすぐに分かってしまうというものの例え。

▼蛇は寸にして人を飲む。蛇は小蛇のときから、人を飲むほどの気迫があるということから、英雄や偉人は幼いころから他とは異なる資質を示すという。

— お詫び —
自治労福島第856号の表面の関根佳菜美代議員の単組名に誤りがありました。下記のとおり訂正します。

誤) 県職連合
↓
正) 公立岩瀬病院職労

「こくみん共済」

新年会のあつちで活用ください

.....

応募方法

- ハガキに、①クイズの答え
②単組名（県職は支部名）
③職場名
④氏名
を明記してご応募ください。
※住所不要。景品は単組にお渡しします。
- 応募先 〒960-8042 福島市荒町1-21
自治労福島県本部
- 締切 1月31日（金）消印有効

幸せは、ひとりじゃつくりえない。

充実の保障を、詰め込んでお届けします

総合共済

団体生命共済

じちろう退職者団体共済

長期共済

税制適格年金

じちろうマイカー共済

自賠償共済

住まいる共済

親子共済

交通災害共済

福袋
Happy New Year
Happy Bag

不明な点があれば、
まず組合に
ご連絡ください

契約にあたっては
パンフレットをご覧ください。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として経済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済〈全労済〉
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合